



TITLE:

表紙・投稿規定・掲示板・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・掲示板・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 1969, 13(1): 53-66

ISSUE DATE:

1969-10-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/87219>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和44年10月20日発行 (毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第13巻 第1号

vol. 13 no. 1

物性研究

1969 | 10

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。

上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。

英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と rr、c と e、l (エル) と 1 (イチ)、x と × (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。

4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (a p + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります。すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。

上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。

英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と rr、c と e、l (エル) と 1 (イチ)、x と × (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。

4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (a p + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

掲 示 板

基 研 研 究 部 員 会 議 議 題 募 集

来る11月6日、7日に基研の研究部員会議が行なわれる予定ですので、議題がございましたら提案趣旨とともに10月25日(土)必着で下記にお申し込み下さい。

京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

研 究 部 員

基 研 短 期 研 究 会

「 励 起 子 」

上記研究会は当初11月に予定しておりましたが、種々の事情で延期し、来年1月後半3日間にわたり、基研で開く予定となりました。

内容としては

1. 非過期系の励起子
2. 磁性体の励起子
3. 生体の励起子
4. 励起子不安定性

としておりましたが、必らずしもこだわっておりません。また、理論に限定せず、理論的に発展の可能性ある実験の報告を歓迎することと致しますので、奮って応募いただきたいと思います。

参加希望の方は11月20日までに、基研共同利用事務室に御連絡下さい。

その際、報告を希望される方は

1. 報告課題名
2. 簡単なアブストラクト

掲 示 板

を含めていただくようお願い致します。又、宿舍を希望される場合にはその旨明記していただきます。

参加者の選考は、世話人に一任させていただきますことを御諒承下さい。

世話人 長谷川 洋
武 野 正 三
福 留 秀 雄

東京大学教養学部物理学教室助手公募

下記により助手を公募いたします。適任者の推薦，希望者の応募をお願いいたします。

1. 分野と人員 物性理論の助手 1 名
2. 公募締切 1969年10月末日
3. 提出書類 履歴書，業績リスト，主要論文の別刷，
推薦書（他薦の場合）
4. 着任時期 1970年4月まで
5. あて先 東京都目黒区駒場3-8-1（郵便番号153）
東京大学教養学部物理学教室

金 沢 秀 夫

新潟大学理学部物理学教室教官公募のお知らせ

当物理学教室では，拡充改組に伴い，下記により教官の公募をいたします。適任者の推薦，希望者の応募をお願い致します。

1. 公募人員および専門分野

- (1) 教授（又は助教授）1 名，物性実験（当教室では現在金属および半導体

の実験が行なわれています。

(2) 教授又は助教授 1 名，理論（専門を問わない。）

2. 公募締切 昭和 44 年 12 月 20 日

3. 就任時期

物性実験の教授又は助教授については 44 年度内着任可能，理論の教授又は助教授については昭和 45 年 4 月 1 日以降

4. 提出書類

(イ) 推薦の場合

推薦書（健康に関する所見を含む）

履歴書，研究業績リストおよび主要論文別刷

(ロ) 応募の場合

履歴書，業績リストおよび主要論文別刷，所属長又は指導教官等の本人についての意見書，健康診断書

5. 宛 先

（郵便番号 951）

新潟市西大畑町 5214

新潟大学理学部物理学教室

野 本 森 万

（電話 新潟「0252」23-6161 内線 420）

（註） 適任者のない場合は決定を保留いたします。

Journal of Statistical

Physics 発 刊

本年 9 月から，“Journal of Statistical Physics”が発刊されます。
Editor からの知らせを次に要約して紹介します。

発行所； Plenum Press, 227 West 17 th Street, New York,
N. Y. 10011.

掲 示 板

Editor ; Howard Reiss, Department of Chemistry University
of California, Los Angeles, Calif.

Board of Editors ; B.J. Alder, T. Bak,
A.V. Balakrishnan, A. Bellemans,
E.R. Cohen, J.S. Dahler, R.P. Futrelle
H. Grad, J.M. Hammersley, W. Hildenbrand
M.D. Intriligator, L.P. Kadanoff
T. Kailath, R.E. Kalman,
J.C. Keck, T.C. Koopmans
R. Kubo, S. Lifson, D.L. McFadden
W.C. Meecham, E.W. Montroll,
R. Probstein, K.E. Shuler,
F.H. Stillinger, G. Szego, D. ter Haar
K. Vind, J. Wolfowitz, L. Zadeh
J.M. Zimmerman, H. Reiss

内容 ; (1) Statistical Mechanics (基礎的な実験をふくむ)
(2) Kinetic Theory
(3) Stochastics
(4) Information and Communication Theory
(5) Life Processes
(6) Mathematical Methods
(7) Macroeconomics
original work, review articles, news, book
reviews 等

投稿規定その他については近く出る第1号をごらん下さい。

(東大・理 久保亮五)

東北大学理学部物理学第二学科教官公募

当教室にて下記より教官 1 名公募いたしますので推薦方お願いいたします。

1. 公募人員 助手 1 名
2. 研究室及び研究内容
真木研究室 (教授 真木和美)
多体問題，主として超伝導， $S-d$ 相互作用，
 $HeII$ ， He^4 と He^3 の混合状態等
3. 資 格 大学院博士課程卒業又はそれと同程度
4. 着任時期 昭和 45 年 4 月又はそれ以後は出来るだけ早い時期
5. 提出書類 履歴書，写真，研究業績及び指導教官の推薦書
6. 提出期限 昭和 44 年 12 月 31 日
7. 提 出 先 仙台市片平丁 (〒980)
東北大学理学部，物理学教室

平 原 栄 治

人のうごき

立 木 昌 氏 1969年7月 東北大学
金属材料研究所教授として赴任された。

槽 谷 忠 雄 氏 (東北大・理)
7月始め 米国 IBM Watson Research Center に
出張された。

伊豆山 健 夫 氏 東大教養学部物理教室

下記へ44年9月から1年間

% Prof. Argyres

Physics Dept.

Northeastern Univ.

Boston Mass.

Prof, J.H.Freed (Cornell, 磁気共鳴緩和の理論, とくに
molecul gas or liquid) 8月末来日, 東大・理に半年間滞在。

[東大・久保研]

- Derivation of the Waldmann-Snider Transport Equation for Molecular Gases
(H.C.Andersen, I.Oppenheim)
- Space Time Correlations in Exchange Coupled Paramagnets at Elevated Temperatures
(R.A.Tahir-Kheli and D.G.McFadden)
- Phenomenological Theory of Velocity Autocorrelation in Simple Liquids
(R.A.Tahir-Kheli and Der-Hseuh Wu)
- Short Range Order in Disordered Binary Alloys
(R.A.Tahir-Kheli)
- Ferromagnetism of Transition Metal Alloys
(D.J.Kim)
- Electron-Spin-and Photon Echo Behavior in High Fields
(D.Grischkowsky and S.R.Hartmann)
- Model Band Structures in Non Linear Optics
(K.C.Rustagi)
- Dynamical Theory of Crystal Lattices from a Microscopic Standpoint
(A.K.Rajagopal and M.H.Cohen)
- The Boltzmann-Langevin Equation and Hydrodynamic Fluctuations
(M.Bixon and R.Zwanzig)
- Neutron Diffraction Determination of the Antiferromagnetic Structure of KCuF_3
(M.T.Hutchings, E.J.Samuelsen, G.Shirane and

K. Hirakawa)

- Ferroelectric Mode Motion in KD_2PO_4
(J. Skalyo, Jr., B.C. Fracer, and G. Shirane)
- Anomalous Acoustic Dispersion in Centrosymmetric Crystals with Soft Optic Phonons
(J.D. Axe, J. Harada, and G. Shirane)
- Broken Symmetry and Decay of Order in Restricted Dimensionality
(D. Jasnow, M.E. Fisher)
- Correlations Along a Line in the Two Dimensional Ising Model (L.P. Kadanoff)

[日大・理工]

- Threshold Behavior of the Soft X-ray Spectra in Metals
(G. Ausman, Jr. and A.J. Glick)
- Longitudinal Electrical Conductivity of a Relativistic Gas in Intense Magnetic Field
(V. Canuto and H.Y. Chiu)
- A Review of Theories of Pulsars
(H.Y. Chiu)
- Radiative Correction to the Ground-State Energy of an Electron in an Intense Magnetic Field
(B. Jancovici)
- Proof of the Existence of Spontaneous Magnetization in the Anisotropic Heisenberg Ferromagnet
(J. Ginibre)
- The Classical Lennard-Jones Solid above the Triple Point Temperature
(Jean-Pierre Hansen)

プ▼プリント案内

- Figure Eights on the Square Lattice: Enumeration and Monte Carlo Estimation
(S. G. Whittington and J. P. Valleau)
- Systems of Particles with Coulomb Interaction
(G. F. Filippov)
- Deformation of the Molecular Crystal at Electronic Excitation
(A. S. Davydov)
- Calculation of the Spectra of Stationary Turbulence in Plasma
(E. P. Zhydlov, V. G. Makhan'kov, V. N. Tsytovich and Che Ze Che)
- Quantum Corrections to the Coexistence Curve of Neon Near the Triple Point
(Jean-Pierre Hansen and Jean-Jacques Wels)

[東北大, 工・応物, 桂]

- Vortex Motion in Superconductors
(K. Maki)
- Hall Effect in Dirty Type II Superconductors
(K. Maki)
- Conditions for Bound States in a Superconductor with a Magnetic Impurity II
(M. Fowler and K. Maki)
- Critical Phenomena: An Introduction to Liquid-Gas and Magnetic Phase Transition
(E. Stanley)
- Broken Symmetry and Decay of Order in Restricted Dimensionality
(David Jasnow and Michael E. Fisher)

- Ornstein-Zernike Relation for a Fluid Mixture with Direct Correlation Functions of Finite Range
(Kazuo Hiroike)
- Low Temperature Critical Exponents from High Temperature Series: The Ising Model
(David S. Gaunt and George A. Baker, Jr.,)
- On a New Decoupling Scheme for the Retarded Green Function and its Application to the Heisenberg Ferromagnets
(Toshihiro Shimizu)
- Etude d'un Modele a une Dimension pour un Systeme de Fermions en Interaction
(M. Gaudin)

[東北大, 工・応理, 広池, 守田]

- Quantum Corrections to the Coexistence Curve of Neon Near the Triple Point
(Jean-Pierre Hansen and Jean-Jacques Weis)
- Localized Correlation in Narrow Conduction Bands - I
(Joel A. Appelbaum and David R. Penn)
- The Heat Capacity at Constant Pressure Near the Superfluid Transition in He^4
(Guenter Ahlers)

第12回国際低温物理学会議 (LT12)

よりのお知らせ

この会議の概要については既に物理学会誌その他に発表してありますが、関心を持っておられる方への連絡をかね最近の準備状況をお知らせします。

1. 参加希望の方へ

(1) First Notice

既に発送を終了しましたが、必要な方は至急下記あて申込んで下さい。

東京都港区六本木7-22-1

東大物性研究所 菅原研究室

これには会議の具体的計画をたてるために必要な予備登録カードが添付されていますが、11月15日までに必ず返送して下さい。

(2) Second Notice

会議の計画の詳細、論文募集要項などを掲載します。必要な方は上記宛11月15日までにお申込み下さい。予備登録をされた方は申込済みとします。論文募集などの事項は次の通りとなる予定です。

論文申込み締切り (アブストラクト添付) 1970年4月1日

論文採否決定 1970年4月10日

参加申込締切 1970年4月30日

登録料 (プロシーデイングスなど別) 5000円

(3) 宿舎について

他の国際会議や万国博の関係で会議期間中の日本人の宿舎はかなり不足することが予想されています。参加希望の方は早目に手配されることをお勧めします。当方としてはお世話しないことを原則とする予定です。

2. 会議の計画の概要

(1) 時 期 1970年9月4日～10日

(2) 会 場 京都市京都会館 (京都市左京区岡崎最勝寺町)

(3) 主 催 日本学術会議

共 催 国際純粋応用物理学連合 (IUPAP)

日本物理学会

第12回国際低温物理学会議 (LT12) よりのお知らせ

- (4) 主 題
- (a) 液体・固体ヘリウム, 量子流体
 - (b) 超伝導体への物理学の応用
 - (c) 金属内電子現象
 - (d) 低温磁性 (磁気国際会議と調整を行なう)
 - (e) その他

上記以外の分野も含め, 新しい問題の開拓に力点をおきます。

(5) 参加予定人員 850名 (国内, 国外を含め)

(6) 論文数 250~300 (1題 15分)

(7) 組織委員会 委員長 神田英蔵

総務幹事 菅原忠

京都担当 高木秀夫

プログラム担当 中嶋貞雄

会計担当 田沼静一

出版担当 佐々木 亘

事務局 日本学術会議事務局内

(東京都台東区上野公園内)

3. 関連する国際的会合

この会議と独立ですが関連のある低温関係の国際会合として次のものが予定されております。

(1) Conference on Transport in Solids

時 期 1970年8月26日~29日

場 所 Sydney (Australia)

準備委員会 委員長 G.K. White (Australia)

日本側委員 中嶋貞雄

(2) 5th Tokyo Summer Institute on Theoretical and
Experimental Physics

目 的 LT12に参加する外国人約10名を招待し, 主に日本人
を対象とする夏の学校

時 期 1970年8月26日~9月1日

場 所 仙台市作並YMCA国際センター

主 題 Physics of Quantum Fluids

第12回国際低温物理学会議 (I.T.12) よりのお知らせ

収容人員 約 80 名
組織委員会 委員長 久保 亮 五
事務局 東北大理・物 大塚研究室 (仙台市片平丁)

(3) Commission I Meeting of I.I.R.

目 的 極低温における実験技術を主題とする国際会議
時 期 1970年9月11日, 12日
場 所 東京 日生会館
主 題 (a) 小型のヘリウム温度冷凍機 (He^3 - クライオスタット, 温度制御その他)
(b) 実験技術 (温度測定, 温度尺度など)
(c) 材料 (超伝導材料, 低温機器材料)

組織委員会 委員長
事務局 日本冷凍協会事務局
(東京都新宿区三栄町三栄ビル)

以上に関する問合せはそれぞれの事務局あてに行なって下さい。

4 準備状況

国際低温物理学会議の日本開催については既に約3年ばかり前から低温研究者を中心に準備が進められており, 本年5月に学術会議主催の件が決定になりました。7月3日には第1回組織委員会が開催され, 会議開催の方針の大綱 first notice の原案その他が決定を見ました。これに基づいて2000部の first notice の国外1500部, 国内400部の発送は9月下旬に完了しました。この間本年8月に行なわれた低温関係の国際的会合で種々の問題があることが判明したので9月24日第1回実行委員会を開催し, 検討を行なってソ連よりの参加者の取扱い, 招待講演, second notice, タイムスケジュール, 予算案など重要事項について方針乃至具体案を得ました。ソ連よりは先方から提出されたリストの中から24名の学者に招待状を送ること, second notice は11月下旬発送の予定とすることなどが決まりました。予算に関してはかなりの額は国費補助が期待されますが, 本年末まで決定されないのでは最終的なものを作るに到っていません。何れにせよ出来るかぎり実質的な, しかも学問的に有意義な会議にするよう努力をする心積りです。

(文責 菅 原 忠)

編集後記

4月に新しく編集委員になってから、そろそろ半年になります。その間、ただ末席を汚してきただけで、本誌編集にどれだけの寄与が出来たか、はなはだ心細いものです。

今回の編集会議は、機動隊が導入され、夜間立入禁止中という慌しい状況のなかで行なわれました。「大学問題特集」等を企画して、自分なりに考えてみよう、と言ってきたものの、結局はこういう事態になるとなすべを知らないというのが実情です。他方、そういう個々の状況から一応離れたとしても、研究論なり、科学論なりを論ずるだけの基盤も能力も持ちあわせていないのです。

こういうことがもう少し一般的になりたつとすれば、これは、特集に対する反応のなさの一つの原因ではないかと思います。

編集会議の席ではいつも「物性研究」の目指すものは、その対象は、ということが話題になります。現在、確固たる解答が皆の共通のものとして存在している訳でもありません。心細いながらも、ささやかな意義を何とか皆で確かめあって頑張っていこうという方が近いようです。

これからどういう風に進んでいくか、前途多難というところです。

(H. T.)

物 性 研 究

第13巻 第1号

1969年10月20日発行

発行人	松 田 博 嗣 京都市左京区岡崎徳成町11 有限会社 双 美 社 内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町通室町西入 TEL (京都) 441 - 1659
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区岡崎徳成町11 有限会社 双 美 社 内

編集後記

4月に新しく編集委員になってから、そろそろ半年になります。その間、ただ末席を汚してきただけで、本誌編集にどれだけの寄与が出来たか、はなはだ心細いものです。

今回の編集会議は、機動隊が導入され、夜間立入禁止中という慌しい状況のなかで行なわれました。「大学問題特集」等を企画して、自分なりに考えてみよう、と言ってきたものの、結局はこういう事態になるとなすべを知らないというのが実情です。他方、そういう個々の状況から一応離れたとしても、研究論なり、科学論なりを論ずるだけの基盤も能力も持ちあわせていないのです。

こういうことがもう少し一般的になりたつとすれば、これは、特集に対する反応のなさの一つの原因ではないかと思います。

編集会議の席ではいつも「物性研究」の目指すものは、その対象は、ということが話題になります。現在、確固たる解答が皆の共通のものとして存在している訳でもありません。心細いながらも、ささやかな意義を何とか皆で確かめあって頑張っていこうという方が近いようです。

これからどういう風に進んでいくか、前途多難というところです。

(H. T.)

物 性 研 究

第13巻 第1号

1969年10月20日発行

発行人	松 田 博 嗣 京都市左京区岡崎徳成町11 有限会社 双 美 社 内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町通室町西入 TEL (京都) 441 - 1659
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区岡崎徳成町11 有限会社 双 美 社 内

Supplement of the Progress of Theoretical Physics

No.43 「Bethe-Salpeter 方程式の概論」特集号案内

A General Survey of the Theory

of the Bethe-Salpeter Equation Noboru Nakanishi

いわゆる素粒子が、何等かの意味で複合的な性格をもっていることは、今日では広く一般的に認められている事実である。ところが特殊相対論の要求をみたすように複合粒子の理論を構成することは、それ程容易なことではなく、正統的な場の理論の枠内でも今日迄に知られている殆ど唯一の例は、Bethe-Salpeter 方程式があるのみである。この方程式については発見されてから約 20 年、我国でも活発に研究されてきたが、世界的にみてもいまだ適当な総合報告が出版されていない。特に最近数年は長足の発展をとげた S-行列理論の観点からこの方程式が見直され、種々の興味ある結果が得られている。またこの方程式の理論的側面として、正統的な場の理論の枠外に出るような問題——不定計量、多重極の存在等——が発見されたことも興味のあることである。このたび発見者である中西襄氏により、系統的な総合報告が出版されたことは、単にこの方面の研究者のみならず、広く素粒子論の研究者にとっても、将来への発展の手掛りを示唆する意味で、重要であると思われる。

販売 公費払 ¥900 (私費払の方は料金を添えてご注文ください。送金は振替又は現金書留で願います。)

私費払 ¥600

8 月 25 日発行

606 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内

理論物理学刊行会

電話 (075) 771-8111 (内線 5171)

振替貯金口座 京都 3 9 7 7 番

取引銀行 第一銀行百万遍支店 当座預金

.....切.....取.....線.....

注 文 書

年 月 日

Supplement No.

部

氏 名

所 属 機 関 名

送 本 先

送 金 額

金 円

購読規定

個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって
3月末までになるだけ(1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、
100円お支払い下さい。

※ 1年間の会費

1 st volume 960円

2 nd volume 960円

計 1,920円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vol. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol.1,800円です
この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

物 性 研 究 13-1 (10月号) 目 次

- 反強磁性 Ising model の相転移と
Lee-Yang 函数の性質 I・II 浅野太郎 ... 1
- レオロジエの幾何学的研究—VI 池田 恵 ... 17
- 「第2近接力と1次元格子の振動」へのコメント 石井一成 ... 35
- 談 話 室
・ 何のための研究か? 蔵本由紀 ... 38
・ 研究者の論理と実践
..... 京大・物理第1教室生物物理自主研究グループ 45
- 掲 示 板 53
- 人のうごき 58
- プレプリント案内 59
- 第12回国際低温物理学会議よりのお知らせ 63
- 編 集 後 記 66

物 性 研 究 13-1 (10月号) 目 次

○ 反強磁性 Ising model の相転移と	
Lee-Yang 函数の性質 I・II	浅野太郎 ... 1
○ レオロジエの幾何学的研究—VI	池田 恵 ... 17
○ 「第2近接力と1次元格子の振動」へのコメント	石井一成 ... 35
○ 談 話 室	
• 何のための研究か?	蔵本由紀 ... 38
• 研究者の論理と実践	
..... 京大・物理第1教室生物物理自主研究グループ	45
○ 掲 示 板	53
○ 人のうごき	58
○ プレプリント案内	59
○ 第12回国際低温物理学会議よりのお知らせ	63
○ 編 集 後 記	66